



「高齢化社会に対応する歯科と医科の連携に向けて」

歯科医師石櫻会
会長 田中 健一

今年の岩手県は、昭和45年以来の「希望郷いわて国体」開催の年です。この国民的行事を通じて、被災地の復興に向けた明るい話題を全国の選手団はもとより、全国の一人ひとりの皆さんにアピールしたいものです。

国民体育大会及び国民障害者スポーツ大会の円滑な実施、運営に私たち県民一致協力して、大会が成功裏に終われるよう、我々歯科医師石櫻会員も大いに関心を高めていきたいと思えます。

さて、超高齢化社会の到来とともに、高血圧や糖尿病など全身疾患を有する患者さんや多剤を服用している高齢の患者さんの歯科受診が増加しています。

これに伴い、それぞれの全身状態に応じた歯科治療を提供する必要性が増しております。そのため、患者さんの主治医との医療連携を密に行い、適切な患者情報を収集することがとても重要になってきています。

そして、最も重要なことは、主治医からの返書の内容を十分に理解し、不明な点があれば再度、問い合わせで患者情報で不明な点がない状態で歯科治療を開始することです。

我々歯科医師も、種々の高齢者の全身疾患に対する知識を勉強して、どのような管理下で歯科治療を行うのか、偶発症が発生した場合の医療連携先はどうするかなど、歯科医師だけでなく、スタッフも含めた歯科医院全体の医療安全の充実に努めていかななくてはなりません。

大都市や大企業の経済の好転に比して、岩手県はじめ、我われ歯科業界もその恩恵には浴しておりません。

我々会員一同は、これからも歯科医療の研鑽向上に取り組むとともに情報交換を一層深めて参りたいと存じます。

今年一年の会員の皆様方のご健康とご活躍を祈念して、ご挨拶とさせていただきます。

掲載内容

- ・ 巻頭言
- ・ 平成27年度総会報告
- ・ 平成27年度講演会報告
講演1 (新18回生)
米内 正 先生
講演2 (岩手医科大学医学部教授)
桜井 滋 先生
- ・ 石櫻トピックス
- ・ 役員名簿
- ・ 幹事会記録
- ・ 事務局からのお知らせ
- ・ 編集後記



平成27年度総会、講演会 および 櫻井滋先生の教授就任祝賀会報告

平成27年6月20日(土)ホテル・メトロポリタン盛岡本館において平成27年度歯科医師石櫻会総会・講演会が27名の会員出席のもと開催された。総会は、小山田榮二副会長の開会の辞、田中健一会長挨拶の後、大久保卓也幹事の司会で渡辺充泰会員が議長を務め、中野廣一幹事長より平成26年度会務報告、関克典幹事より会計報告、池田健監事より会務・会計内容が適切である旨の監査報告があった。平成27年度事業計画等、会員名簿等について審議され原案通り可決承認された。つづいて、会長、監事の選挙が行われ、田中健一会長および村上修、池田健両監事の再任が承認され、池田健監事の閉会の辞にて総会を終了した。総会の後に米内正先生の講演「私の歯周治療」、つづいて岩手医科大学医学部睡眠医療学科教授櫻井滋先生の講演「睡眠と関連する診療と研究について」を拝聴した。その後、熊谷哲也幹事司会のもと「櫻井滋先生の教授就任祝賀会」に入り、田中健一新会長挨拶、村井伸吾岩手高校校長、池口杜孝元校長の来賓挨拶をいただき、岡田宗二先生の挨拶、乾杯で祝賀会に入った。恒例の会員の挨拶・近況報告が楽しく行われ、田中崇一先生の音頭で岩手高校校歌を全員で高らかに斉唱した。最後に村上修監事の中締で、次年の再開を期して祝賀会をお開きとした。(中野廣一記)



講演会講師の櫻井 滋先生と米内 正先生

櫻井 滋先生の教授主任祝賀会

参加者全員での校歌斉唱



講演 1

「私の歯周治療」

米内 正先生 (新 18 回生)

盛岡市開業

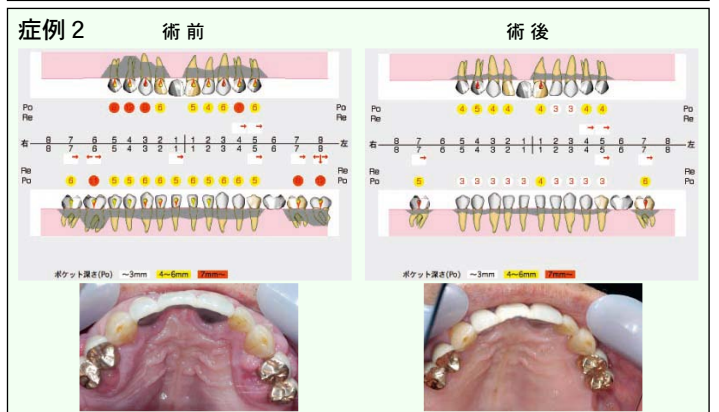
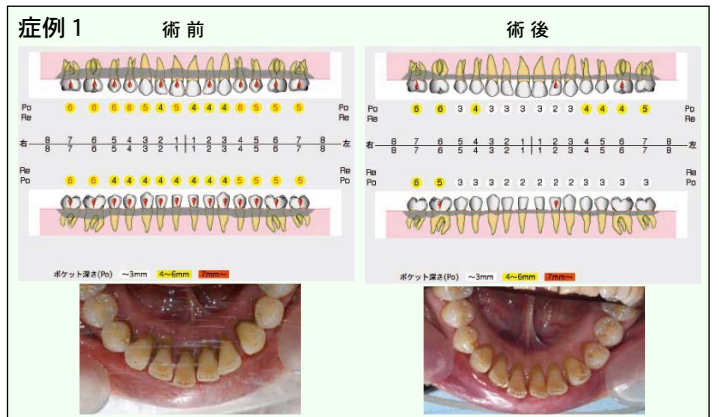
私は保険治療医で保険診療のルールに沿って日々治療を行っております。患者様方も保険診療を希望されて来院されます。そこで我々保険医としては保険診療のルールの中で理想的治療でなく現実治療をやっていく必要があります。歯周病のリスクの高い患者様は歯周 動的治療後に長期にわたるメンテナンスを通して我々歯科医の管理下にあると治療結果の永続性があることはすでに立証されている。そこで今回の講演では保険の範囲でどこまで治療ができるか、私の診療室で実践している治療を症例を通して紹介する。

【症例 1】 73 歳, 女性 / 初診 2009 年 / 主訴: 右上奥歯が強く噛めない。歯がヌルヌルする / 既往歴: 特になし / 初診時歯周病検査結果と現症: BOP 90%, 歯周ポケット 4mm 以上 (1 点法) 100%, PCR 62.5% (初診時は痛みを与えないため 1 点法歯周病検査を行う) 歯肉の発赤, 腫脹, 多量の歯石沈着をみとめる / 診断名: 中程度慢性歯周炎 **【治療内容と経過】** モチベーション, プラークコントロールと歯周基本治療を開始した。全顎の SRP が終了し 初診から 2 か月後の歯周病検査結果, BOP 55%, 歯周ポケット 4mm 以上 73%, PCR 36% であったので, 全顎にわたる Flap (Modified Winman Flap 手術) を数本づつ行った。約 1 年半かけて全顎の Flap を終了した。その間は患者の希望により月 1 回メンテナンスを実施した。Flap 後の歯周病検査結果: BOP 3%, 歯周ポケット 4mm 以上 20%, PCR 15% と著しく改善した。

【症例 2】 78 歳, 男性 / 初診 2011 年 / 主訴: 上顎小臼歯部の歯肉腫脹 / 既往歴: 高血圧症, 狭心症, 気管支喘息 / 初診時歯周病検査結果と現症: BOP 87%, 歯周ポケット 4mm 以上 100% / パノラマ X 線写真で臼歯部骨吸収が著明, 上顎小臼歯歯肉腫脹が著明, 全顎に歯石沈着 / 診断名: 中程度から重度慢性歯周炎 **【治療内容と経過】** 多数の全身疾患をもっているため, モチベーション, プラークコントロール, 歯周基本治療, 抗炎症法で治療を進めることとした。全顎の SRP が終了し, 初診から 2 か月後の歯周病検査結果: プラークコントロールが改善し, BOP 15% に減少したが, 歯周ポケット 4mm 以上は 80% であったので, ここでジスロマックを投与した。初診から 7 か月後の歯周病検査結果: BOP 5%, 4mm 以上の歯周ポケットは 27% に減少した。この間予後不良の #46, #38 を抜歯した。

プラークコントロールが改善されてからジスロマックを投与すると効果的である。3 年後 BOP は 3%, 歯周ポケット 4mm 以上 17%, PCR 15.5% / この患者も希望により月一回のメンテナンスを継続している。

【考察および結論】 歯周病の治療をシステム化することによってパソコンで検査結果と口腔内写真を大きく見せることができ、視覚的にも大変理解しやすくなる。患者とコミュニケーションの機会が増え、歯科医師のみでなくスタッフも話し方を工夫したり、自主的に行動する要因となった。患者に沿っていることを提示することが大事です。すると患者はせっかく治癒した状態が再発しないように心がけるようになり、メンテナンス治療へも積極的に行動するようになった。このことによって歯科医師及びスタッフが共に充実した歯科医療に携わることができると信じている。(講演者自抄)





講演 2

「睡眠と関連する診療と研究について」

櫻井 滋 先生 (新26回生)

岩手医科大学医学部 睡眠医療学科 教授

睡眠医療学科は臨床医学の一分野で、睡眠に関連する健康障害を独立した診断分類に基づき診断する新たな医学分野である。睡眠時無呼吸症候群をはじめとする、幾つかの病態は医学的介入手段が確立されている。当研究室における睡眠関連医療と研究の現状を紹介し、会員諸兄の参考に供することとした。

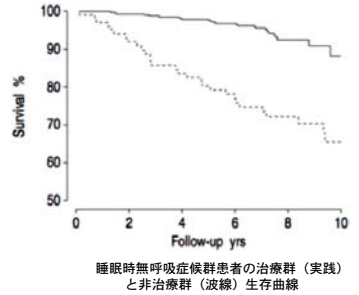
1) 睡眠学と睡眠医療：睡眠学は脳生理学や精神科の一部として発展してきたが、長く迷信や偏見の対象であり、医療人においてさえ類似的認識が散見される。現在の睡眠学は睡眠脳波研究の進歩によるところが大きく、患者自身の感覚や憶測、一過性の主観的所見で睡眠全体を判断することは大きい誤診につながる。したがって、睡眠検査(終夜睡眠ポリグラフィ：PSG)が重要である。当研究室では、PSG上の所見と血漿中の神経ペプチド定量値の比較により、幾つかのペプチドが睡眠に関連する生物マーカーとなりうることを報告してきた。

2) 全国の睡眠に関連する研究室・講座：睡眠呼吸障害の診断と

治療に関する取り組みを中心に、全国の大学に睡眠医療や研究を目的とする部署が設置されているが、多くは期間が限定された臨時講座である。一方、当研究室は常設であり、臨床診療も同時に行っている。

3) 睡眠関連呼吸障害と不眠：睡眠関連呼吸障害は生命予後に直結する病態であり(図)、さらに不眠と過眠を伴う身体的障害である。それらは社会全体の生産性を低下させ、生活の質を悪化させるとともに、交通事故や心血管障害による疾病の増加に直結している。睡眠を精神的側面のみからとらえる時代はすでに過去であり、あらゆる臨床場面で睡眠の質や睡眠に関連する障害を考慮すべき時代になっている。

5) 睡眠と歯科医学(睡眠歯科学)との関連：今日、歯科医学は様々な睡眠呼吸障害の診療に大きく貢献しており、専用の口腔内装置の調製と臨床効果の検証などを通じ、また、無呼吸の主たる治療装置である持続陽圧療法における補助装置としての役割、さらには下顎骨の骨切り術などを通じた解剖学的変位の試みなどを通じて密接な連携体制が構築されつつある。本学においても、歯学部矯正歯科学分野との共同研究が行われている。(講演者自抄)



平成27年度 歯科医師石櫻会 総会・講演会・櫻井滋先生の教授就任祝賀会 参加者のご紹介 (敬称略)



後列左から：熊谷哲也、野館孝之、志賀元一、武田秀雄、関克典、上原 豊、波紫修一、高橋賢司、田中崇一、
 中列左から：村上 修、亀田幸宏、池田 健、渡辺充泰、角田克保、関根 元、西郷史郎、大久保卓也、岡田伸男、中野廣一
 前列左から：伊保内利一、桂 啓文、小山田榮二、櫻井 滋教授、村井伸吾校長、田中健一、池口杜孝元校長、米内 正、岡田宗二、横澤昭平、小松世潮

石櫻トピックス

今回は岩高OBの活躍として、新40回生で友人の佐藤秀也君を紹介いたします。彼の職業はプロゴルファーで、現在は関東でレッスンプロをしております。岩手に帰省の際はよく一緒にゴルフをしますが、野球部出身なので今でもすごいショットを打っており、数年後のシニアでのツアー復帰を応援しています。ゴルフを趣味にしておられる先生方、今度一緒にどうですか。岩高出身のプロスポーツマンのお話でした。(波紫修一記)



役員名簿

(任期：平成27年4月1日～平成29年3月31日)

- 会 長 田中健一
- 副会長 小山田榮二、小豆嶋正典
- 幹事長 中野廣一
- 幹 事
- 学術 上原 豊、田中崇一
- 会計 赤坂俊彦、近藤 聡
- 庶務 熊谷哲也、大久保卓也、内田良夫
- 名簿 波紫修一、高橋賢司
- 記録 亀田幸宏 (ビデオ撮影、DVD・抄録作成)
- 広報 関 克典、西郷史郎
- 地区 道又 元、村田昌明、佐々木正博
- 学内 岡田伸男 (学術と兼務)
- 顧問 岡田宗二、横澤昭平、山田康平
- 監 事 村上 修、池田 健 (敬称略)

幹事会記録 (抜粋)

平成27年度第1回幹事会

日時:平成27年6月5日(金) [於:「串揚げ屋」]
出席者:田中健一会長、小山田榮二副会長、中野廣一幹事長、赤坂俊彦、関克典、亀田幸宏、上原 豊、熊谷哲也、波紫修一、高橋賢司、大久保卓也、岡田伸男、田中崇一の各幹事、村上 修監事(敬称略)

1) 報告事項

(1) 中野幹事長より昨年度の事業報告:平成25年2月25日幹事会▼4月17日第7号会報・講演会案内等発送(120部)
(2) 赤坂会計担当幹事より平成26年度の会計報告:
<収入>収入合計532,118円(内訳:当日会費7,000×26=182,000、当日年会費5,000×13=65,000、振替入金5,000×30=150,000、振込入金5,000×25=125,000、雑収入10,000、決算利息118)
<支出>支出合計362,631円(内訳:総会費229,602、講師謝礼60,000、車代10,000、資料作成費等35,922、お見舞5,000、香典(2件)10,000、自動振替手数料6,891、岩手中・高校バナー広告5,000)
<収支> 532,118円-362,631円=169,487円
(3) 波紫名簿担当幹事より新卒者の追加会員4名の報告あり。住所不明の学内会員については岡田幹事が調査担当。

2) 審議事項

(1) 会長、監事の選出選挙について
・歯科医師石桜会会則、第四章第7条、および第9条の規定により、本年4月中旬に郵送物にて各会員に告示を行った。5月末日までに立候補者の届け出が無かった旨が報告され、現会長(田中健一会長)ならびに現監事(村上 修、池田 健監事)の続投を幹事会案として総会に諮ることとなった。
(2) 会場について
・H.メトロポリタン本館にて総会、講演会、懇親会(櫻井滋先生の教授就任祝賀会併催)を行う。
(3) 講演会について
・米内 正先生と櫻井 滋教授。
(4) 次年度の講師について
・亀田幸宏先生(新35回生)と山田公一氏(新22回生)
(文責:中野廣一)

平成27年度第2回幹事会

日時:平成28年2月22日(月) [於:「山留」]
出席者:田中健一会長、小山田榮二、小豆嶋正典副会長、中野廣一幹事長、赤坂俊彦、亀田幸宏、熊谷哲也、西郷史郎、波紫修一、高橋賢司、大久保卓也、田中崇一の各幹事、村上 修 監事(敬称略)

1) 報告事項

(1) 中野幹事長より昨年度の事業報告:6月20日平成27年度総会、学術講演会(講師:米内 正先生(新18回生)、櫻井 滋先生岩手医科大学医学部 睡眠医療学科教授(新22回生))、歯科医師石桜会懇親会、櫻井 滋先生の教授就任祝賀会(参加者数27名)
▼平成27年7月17日:村木崇先生(新40回生)ご逝去:会からお香典。8月4日:八重樫良昌先生(新27回生)ご母堂様ご逝去:会からお香典。平成28年1月30日:亀田幸宏先生(新35回生)ご母堂様ご逝去:会からお香典。
(2) 赤坂会計担当幹事より平成27年度の会計中間報告:
<収入>収入合計524,069円(内訳:当日会費7,000×24=168,000、当日年会費5,000×13=65,000、振替入金5,000×30=150,000、振込入金5,000×24=120,000、雑収入21,000、利息69)
<支出>支出合計376,354円(内訳:総会費244,680、講師謝礼70,000、車代20,000、総会資料作成費・送料20,000、慶弔費15,000、自動振替手数料6,674)
<収支> 524,069円-376,354円=147,715円
(3) 波紫幹事より、名簿変更者2名、追加者2名、2名の不確定会員の報告あり。正規名簿は平成29年に発行する。平成29年度から4年毎に名簿を発行する。名簿印刷は原則としてセーコー印刷発注。平成28年度の総会資料とともに正規名簿発行に伴う名簿変更用紙を送付する。

2) 審議事項

(1) 平成28年度総会・講演会・懇親会(小豆嶋正典先生の岩手医科大学医療専門学校長就任祝賀会併催)は6月11日(土)夜5時半からH.メトロポリタン盛岡ニューウィングにて開催。懇親会時に村田昌明先生の第44回医療功労賞受賞祝いも行う。
(2) 平成29年度総会・講演会
6月10日(土)メトロポリタン盛岡本館にて夜5時から開催。
講演会講師は中野廣一先生(新22回生)と小豆嶋正典先生(新23回生)。
(文責:中野廣一)

事務局からのお知らせ

■ 会計からのお願い

年会費のご納入が未だでございましたら、下記口座へ5,000円のお振込みをお願いいたします。銀行口座からの自動振替制度のご利用が便利です。事務業務も大変簡素化され助かりますので、お手続きを宜しくお願いいたします。

■ 「銀行振込み口座」

東北銀行 大通支店(支店コード103)
(普通) 3162801 歯科医師石桜会 会計 赤坂俊彦

■ 「口座振替依頼書」のお手続きの問合せ・送付先

〒020-0016 盛岡市那須川町29-2 赤坂病院歯科
歯科医師石桜会 会計 赤坂俊彦 宛
TEL : 019-624-1225 FAX : 019-623-1825

■ みなさまの声をお寄せ下さい

本会についてのご意見・ご要望、会員名簿のご訂正や名簿に掲載されていない岩手中高卒の歯科医師情報、会員のお悔やみ情報などがありましたら事務局までお知らせ下さい。

歯科医師石桜会事務局

〒020-0837 盛岡市津志田町2-1-70
くまがい歯科クリニック内
TEL / FAX : 019-632-1188
E-mail: tetsu-tetsu@wish.ocn.ne.jp

編集後記

一昨年、小豆嶋正典副会長が岩手医科大学医療専門学校(歯科衛生学科・歯科技工学科)長に就任されました。また、本年早春に村田昌明先生が第44回医療功労賞(読売新聞社主催)を受賞されました。誠に慶ばしい限りにて、衷心よりお祝い申し上げます。

平成21年に横澤昭平元会長の時に創刊されました歯科医師石桜会会報が早いもので本号で第8号となりました。この間に未曾有の東日本大震災を経験し、創立35周年記念祝賀会・記念誌の発行、櫻井滋先生の教授就任祝賀会の挙行など、その時々々のニュースを会員の皆様にお届けしてまいりましたが、これまで小生が発行を担当させていただいておりましたが、次号からは西郷史郎幹事にバトンを渡します。益々充実した紙面になることが期待されます。

これまでお世話になりました関係各位にこの場をお借りして心から御礼申し上げます。(中野廣一 記)